



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社天満屋ストア

コード番号 9846

URL <http://www.tenmaya-store.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野口 重明

問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)加島 誠司 (TEL)086-232-7265

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日~平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	55,307	△1.5	1,648	△10.2	1,706	△6.8	1,063	△7.7
30年2月期第3四半期	56,123	0.3	1,835	△7.5	1,830	△1.7	1,151	32.6

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 1,038百万円(△9.5%) 30年2月期第3四半期 1,148百万円(21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	92.22	—
30年2月期第3四半期	99.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	49,621	19,627	39.5
30年2月期	49,355	18,645	37.7

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 19,584百万円 30年2月期 18,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	2.50	—	2.50	5.00
31年2月期	—	2.50	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,800	△0.7	2,550	1.0	2,550	1.9	1,100	8.8	95.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年2月期3Q	11,550,000株	30年2月期	11,550,000株
31年2月期3Q	23,288株	30年2月期	26,465株
31年2月期3Q	11,526,043株	30年2月期3Q	11,537,379株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役に対する株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結貸借対照表関係)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調にあるものの、米国の保護主義的な通商政策や地政学的リスクなどの懸念材料に加え、夏場に相次いだ自然災害の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いてまいりました。また、根強い節約志向が続くなか、個人消費の持ち直しは足踏み状態のまま推移いたしました。

こうしたなか、当社グループは、営業力の強化と収益力の向上に取り組むとともに、コンプライアンスの一層の強化にも努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は553億7百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益は16億48百万円(前年同四半期比10.2%減)、経常利益は17億6百万円(前年同四半期比6.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億63百万円(前年同四半期比7.7%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

#### (小売事業)

小売事業につきましては、商品力、販売力、サービスの向上により他店との差別化を図り、店舗競争力の強化を目指してまいりました。商品力の向上は、生鮮食品を中心に産直商品の充実や発注精度・加工技術の向上による商品の鮮度アップのほか、主力商品となる名物商品の開発やEDLP(低価格戦略)の徹底に加え、株式会社セブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド「セブンプレミアム」を全店に導入し、品揃えの強化にも注力してまいりました。販売力とサービスの向上は、時間帯に応じた品揃え強化と陳列・販売技術の改善に努めるほか、曜日別販促の見直しと自社カードを利用した新たな販売促進やフレンドリーな接客サービスなどにも取り組んでまいりました。さらに、平成30年3月に児島店(岡山県倉敷市)及び岡北店(岡山市北区)を全館改装オープン、4月にアリオ倉敷店(岡山県倉敷市)に「天満屋ふるさと館」を開設、6月にアルネ津山店(岡山県津山市)、10月に高野店(同)を改装オープンするなど、既存店舗の活性化も推進してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は500億56百万円(前年同四半期比1.3%減)、営業利益は13億76百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

#### (小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発力の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は52億50百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益は2億71百万円(前年同四半期比22.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加し、496億21百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1億57百万円、投資その他の資産が4億43百万円減少したものの、流動資産が9億58百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億16百万円減少し、299億94百万円となりました。これは主に、流動負債が3億71百万円、固定負債が3億44百万円減少したことによるものであります。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億82百万円増加し、196億27百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年10月5日公表の業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,274,842	1,952,661
売掛金	1,640,876	1,979,003
商品	2,784,656	2,701,224
貯蔵品	19,101	46,872
その他	1,708,245	※ 1,703,428
貸倒引当金	△19,110	△16,515
流動資産合計	7,408,613	8,366,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,441,017	12,093,246
土地	15,066,371	15,008,134
その他(純額)	1,968,977	2,217,971
有形固定資産合計	29,476,366	29,319,352
無形固定資産		
のれん	263,542	221,787
その他	2,708,937	2,658,502
無形固定資産合計	2,972,480	2,880,289
投資その他の資産		
差入保証金	2,535,105	2,258,644
敷金	4,954,426	4,878,658
その他	2,021,264	1,930,555
貸倒引当金	△12,600	△12,800
投資その他の資産合計	9,498,197	9,055,058
固定資産合計	41,947,043	41,254,700
資産合計	49,355,656	49,621,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,844,195	5,470,980
電子記録債務	961,787	1,113,587
短期借入金	8,221,789	5,288,050
未払法人税等	441,802	307,341
賞与引当金	94,647	13,040
その他	3,175,406	3,174,846
流動負債合計	15,739,627	15,367,846
固定負債		
長期借入金	9,670,611	9,492,338
役員株式給付引当金	10,300	13,581
利息返還損失引当金	101,445	86,053
退職給付に係る負債	1,490,969	1,444,616
資産除去債務	211,699	214,645
長期預り保証金	590,228	276,837
長期預り敷金	2,092,717	2,089,576
その他	802,813	1,008,591
固定負債合計	14,970,784	14,626,241
負債合計	30,710,412	29,994,087
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	9,627,380	10,632,654
自己株式	△30,567	△26,876
株主資本合計	18,641,812	19,650,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,060	92,446
退職給付に係る調整累計額	△175,729	△158,736
その他の包括利益累計額合計	△36,668	△66,289
非支配株主持分	40,100	42,800
純資産合計	18,645,244	19,627,288
負債純資産合計	49,355,656	49,621,376

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	53,835,588	53,026,878
売上原価	40,195,789	39,666,826
売上総利益	13,639,798	13,360,051
営業収入	2,288,140	2,280,139
営業総利益	15,927,939	15,640,191
販売費及び一般管理費	14,092,088	13,991,621
営業利益	1,835,850	1,648,569
営業外収益		
受取利息	3,228	2,476
受取配当金	40,124	50,278
補助金収入	—	76,205
受取補償金	10,095	10,451
協賛金収入	73,978	4,732
その他	3,703	23,650
営業外収益合計	131,130	167,795
営業外費用		
支払利息	127,901	107,114
その他	9,056	3,065
営業外費用合計	136,957	110,180
経常利益	1,830,023	1,706,184
特別損失		
固定資産除却損	48,674	49,160
固定資産売却損	—	29,407
その他	4,222	3,522
特別損失合計	52,896	82,090
税金等調整前四半期純利益	1,777,127	1,624,093
法人税等	622,039	555,972
四半期純利益	1,155,087	1,068,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,614	5,099
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,151,473	1,063,021

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	1,155,087	1,068,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,921	△46,614
退職給付に係る調整額	14,954	16,993
その他の包括利益合計	△6,966	△29,621
四半期包括利益	1,148,121	1,038,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,144,506	1,033,400
非支配株主に係る四半期包括利益	3,614	5,099



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※ 平成30年7月豪雨の影響により被災した、当社小売事業の真備店(岡山県倉敷市)の棚卸資産及び固定資産の帳簿価額等185,118千円は、保険金が受領できる見込みであるため、災害未決算として流動資産の「その他」に計上しております。